



菊花かおる候、貴台におかれましてはますますご健勝でご活躍のことと拝察いたします。日頃は、弊法人の活動に物心両面からご協力、ご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

○ わたしどものカンボジア支援活動も8年目を迎え、ここ数年、支援活動の拠点として位置づけている新設バイヨン中学校も第3期工事を迎え、太陽光発電施設を設置した管理棟(本法人建設:職員室・理科室・パソコン教室)及び教室棟2棟(他団体建設:12教室)が完成し、11月より新1年生を含む全学年そろった400人規模の中学校教育がスタートします。

本法人では開校当初より「建物造って魂入れず」にならぬよう、多彩な教育関係スタッフの指導力を活かして、来年1月開催の運動会に備えての体育の授業、あわせて運動会に必要な縄巻、竿旗づくりなどの家庭科の授業、理科室を活用してのグループ実験授業、初めて絵筆を持つ生徒への描画基礎の授業などを実施してきています。と同時に、現地の先生に対しこれら授業の教材教具の提供や指導技術の修得を図ることに努めてきました。

○ 皆様方からの支援募金を活用させていただいている給食事業も5年目を迎え、慢性的な栄養不足に陥っている子どもたちから期待され喜びの大きな事業であることは当初と変わりありませんが、この事業に携わる現地応援スタッフの青年たちが、地域の若手リーダーとして成長してきていることも見逃すことができません。これら若手リーダーの力が結集され、当地域の農村が自立への歩みを加速することと期待しています。

○ 去る9月に実施した「第3回カンボジア教員研修招へい事業」は台風18号の直撃を受け日程を1日短縮せざるを得なかったものの、蒲郡市をはじめ設楽中学校、東栄中学校、形原中学校、蒲郡中学校、竹島小学校等のご高配をいただき、充実した研修日程を終えることができました。

「日本の学校の教育施設、教材・教具の充実ぶりはもちろんのこと、子どもたちの授業での積極性に驚いた。」との先生方の感想は、その裏返しとしてのカンボジアの子どもたちへの期待として受け止めることができました。カンボジア教育発展の魁として、まずは研修を受けられた先生方の授業が創造的で多様化されることを期待しています。

○ バイヨン中学校の運動場隅に本法人支援の**体育倉庫**の建設が進んでおり、間もなく完成の運びです。

3年がかりで進めてきた**体育の授業実践、運動会の練習等の有形無形の貴重な財産が運動器具と共に永く保管されること**でしょう。

● これまでの貴台のご芳志に感謝申し上げます共に、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

● 「カンボジア活動報告」を広報オアシスと合わせて随時発行しお届けします。お目通しいただき活動の近況を把握いただけると幸いです。

● カンボジアを訪問される際は、ご一報いただければ、支援関係場所の見学を手配させていただきます。また、本法人では原則年4回(1・3・6・11月)支援活動訪問を実施しています。同行を含めカンボジア観光を希望される方は、訪問日程等を提案させていただきます。

● 「お気軽にご活用ください!!」  
〔連絡先〕足立泰敏 蒲郡市神ノ郷町森42-1

Tel:0533-69-0052

Email:adyas602@infoseek.jp